

令和元年度第2回札幌市はつらつシニアサポート事業評価委員会 会議録

1 日時 令和元年9月25日（水）午後4時00分～6時00分

2 場所 札幌市役所本庁舎 地下1階3号会議室

3 議題

令和元年度シニアサロンモデル事業申請案件の審査

4 出席者

(1) 委員（五十音順）

菅野 龍夫

中田 雅美

畑 亮輔

福田 菜々

(2) 事務局

保健福祉局高齢保健福祉部長

佐々木

保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課長

足立

保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課生きがい支援担当係長

藤谷

保健福祉局高齢保健福祉部高齢福祉課高齢福祉係

鈴木

5 議事の概要

(1) 令和元年度シニアサロンモデル事業申請案件の審査

事務局から1件の申請案件の概要について説明し、団体からプレゼンテーションを受けるとともに、ヒアリングを行った。審議を行った結果、補助金の交付が不相当であるとの評価がなされた。

■ 不交付決定団体について主な質疑・評価内容は以下のとおり。

○（委員）利用者をどのように確保するのか、団体の収支が赤字だがサロン運営の財源はどのように確保していくのか等についてどのように考えているか。

⇒（団体）サロンは赤字だが、自分でどうにか支払いをしている。

利益を出そうと思っているのではない。この補助金が決まれば、チラシを10万部作り、新聞の折り込みを利用し市内へ配布したいと考えている。

○（委員）仮に利用者が増えた場合、運営ができる体制となっているのか、申請書類やヒアリングからは何うことができず、懸念がある。

- ⇒（団体）団体には役員もいるし、男性もいる。補助の交付が決定された後でなければ、詳細の話をする事ができないだけである。
- （委員）補助交付終了後にサロンを継続できるような体制が団体にあるかどうか不明である。
 - （委員）サロン運営を一生懸命に行っている熱意についてはわかるが、事業計画の内容等審査基準を判断するための話はされていない。